



東 俣 野 12月号

東俣野小学校 学校だより 平成30年12月3日

人権月間に向けて

校 長 村田 幹男

いよいよ12月。師走を迎えました。7日は、二十四節気の「大雪」です。本格的な冬、雪の季節の到来です。この季節、冷たく澄んだ朝の空気の中、南門前で子どもたちを迎えていると、富士を背景にした鮮やかな自然の景色に思わず見とれてしまいます。

さて、今月を、本校では「人権月間」としています。だれもが、安心して、豊かな生活がおくれるよう、自分たちの生活を振り返る機会にします。今朝、さっそく朝会の場で、具体的な例を取り上げて、私が話をしたところですし、明日は「人権学習会」で、目の見えにくい人を安全に誘導する「盲導犬」について学びます。各教室でも、道徳の授業や学級活動の場で身近な具体例について考える活動がこれから始まっていきます。

ふだん、子どもたちは落ち着いて学習していますが、休み時間や放課後などの言動には気になることも少なくありません。その一つは「チクチク言葉」がけっこう使われていること。「チクチク言葉」とは、言われると心がチクチクと痛むような言葉です。例えば、ばか、死ね、うざい、むかつく・・・などなど。言われた子の身になって考えれば、決して使えない言葉なのに、いらだつとすぐに、友だちに対してこんな言葉を口に出してしまうのです。

チクチク言葉を摘んでいかないと、暴力・いじめも無くなりません。そこで、「チクチク言葉」を減らし「ふわふわ言葉」（言われるとあたたかい気持ちになる言葉）を増やす取組もしたいと思います。ご家庭でも、この機会に、お子さんの言葉遣いについて、ぜひご指導いただきますようお願いいたします。

自分本位の思いを優先し、後先考えずについ相手の人権を侵してしまうような言動をとってしまう。子どもゆえに、そんな失敗もしてしまいますが、「言っているいいこと、悪いこと」「やっているいいこと、悪いこと」「笑っているいい時、悪い時」の区別をしっかりと指導し続け、人権意識の高い子たちに育てていきたいと思っています。

後期前半は、各学年とも校外学習をはじめ、さまざまな行事があり、子どもたちの具体的な成長の姿が見られました。4日からの個人面談の折に、各担任からお話いたします。ご家庭での様子もぜひお知らせください。